

やまぐち 3月1日



よい子によい本を

団地などには貸出文庫

(児童図書館で)

山口市立児童図書館は、児童文化センター(湯田温泉五丁目)の中に併設されています。

放課後や日曜日には、市内のあちこちから、子どもたちが友だちや両親といっしょに集まってきました。

児童図書館には、約二万冊の本(児童図書九千冊、一般

成人図書千冊)を備えて、個人の登録者や団体に貸し出しを行っています。

個人の貸し出しを利用して、いる子どもは、幼児から中学生まで七百二十七人で、とくに小学校低学年がいちばん多く、男子よりも女子が多く利用しています。

また、おとも百十八人で

ほとんどお母さんが利用されていて、お父さんはわずか九人です。

子どもたちが喜んで読む本は、低学年は童話、空想、科学物が多く、高学年になりますと科学物、伝記にかわり、とくに学校の教科書で習うものとの関連があるようです。

男子は科学、推理を好み、女子は物語りを好んでいます。最近の目立つ傾向は、テレビとの関連が出て、新八大伝、真田十勇士などを喜んで読んでいます。

貸し出しは個人で登録されれば、ひとり一冊、遠くの人には二冊を原則として一週間貸し出しています。

また、アパート、団地、子ども会、学級などの団地で希望されれば、百冊までを二か月間貸し出しますのでご利用ください。

山口市民憲章

- 一、自然をたいせつにし、美しい環境を守りましょう。
- 一、スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 一、互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
- 一、きまわりを尊び、良い風習を育てましょう。
- 一、郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

のまちづくりを の結果がまとまる



六百年の町の歴史を秘める、の坂川
さくらにもやなぎにもほたるにも雪にも
川水はいつもやさしくささやいて
町の人ひとにすがしい気持をあたえてくれる

市では、昨年の十一月に「市民意識調査」を行いました。これは今後の総合計画の基礎資料と、当面の市政運営の参考にするために日ごろ市政への関心、地域社会の問題、公害問題、生活時間など、二十一項目の設問を設けて調査をしましたが、その結果がまとまりました。

この調査でとくに注目される問題は、自分の住んでおられる住宅環境や住みこころは、五十割以上の人がまあ満足と答えられ、五十割の人が郷土に愛着心を持ち、六十割の人が永続して住みたいとしておられることです。

連帯感のある地域社会を

住宅環境

自分の住む住宅環境には、全体の六十二・五割の人が満足しておられ、二十二・三割の人が不満をもっておられます。

地区別では、大歳、佐山、嘉川で満足している人が多く、鑄銭司、小鯖、平川、陶で三十割以上の人が不満をもっておられます。

不満の理由は、交通の便がト
ップで三十三・五割、次いで環
境衛生が二十四・二割で、北部
では、仁保、平川、南部では秋
穂二島、佐山で交通の不便を感
じておられ、男性より女性が多
いという結果になっています。

公害

大気の汚染、水質の汚濁、土

境衛生が二十四・二割で、北部
では、仁保、平川、南部では秋
穂二島、佐山で交通の不便を感
じておられ、男性より女性が多
いという結果になっています。

居住年代別では、居住年代が
長いほど満足している人が多く
短いほど不満をもってしている人
が多い結果になっており、住め
ば都々となるようです。

市政への関心も五十割以上の人が関心をも
たれ、市の重点施策では、ごみ・し尿・上下
水道などの生活環境整備、山紫水明の美の保
存、教育文化都市などが望まれております。

市の重点施策では、ごみ・し尿・上下
水道などの生活環境整備、山紫水明の美の保
存、教育文化都市などが望まれております。

地域社会

住みよい生活環境と心のふれ
合いのある地域社会づくりにつ
いて、その必要性をたずねたも
のです。

全体の八十三・五割の人が必
要性を感じておられ、八・一割
の人が必要ないとして、「わか
らない」「無記入」を除くと九
十割以上になって、必要性の認
識は非常に強いと思われま
す。

住みよさ

昭和四十五年の調査は「くら
しのよしあし」という問いでし
たが、これに比較してみますと

△アンケートの結果▽
基本選挙人名簿から、
各地区ごとに三十三番目
の人を選び、二千二百十
七人を対象に、調査書を
郵送して行いました。
市外に転居、病气など
で返送になったものが十
一、未回収が七百六十三
ありました。
回収数は千四百四十三
で、回収率は六十五・四
割でした。



住みよい山口 市民意識調査

「普通」と答えた人が五三・八割から五七・三割へ、「住みよい(くらしよい)」一・四割が二六・六割、「住みにくい(くらしにくい)」三〇・四割が大幅に減少し三三・五割となり、前回の調査時より市民の意識のうえでかなり住みよいといえるようです。

地区別では、「住みよい」と答えられたものが高い地区は、山口三十三・一割、宮野二十九・五割、大歳二十七・五割、仁保二十七割の順で、逆に「住みにくい」が高い地区は小幡二十九・八割、吉敷二十七・八割、陶二十五に割なっています。男女別では、男性で「住みよい」二三・一割、「住みにくい」一七割、これに対して女性

は「住みよい」二十九・九割、「住みにくい」一〇・八割と女性の方が住みよいとの認識がかなり高いようです。

年代別では高年代に、居住年代別でも長く住んでおられる人に住みよいとの認識が強くなるかえります。

「住みよい」と答えられた理由のいちばん多いのは、自然環境四一・八割、前回の調査では四〇・二割でした。きれいな空気、静かな環境はますます貴重なものになっていいると思われ

ます。「住みにくい」と答えられたものは、「税負担金」三二・一割で、前回は三十七・四割、「物価」三三割から二二・九割といずれも減少してはいませんが、経済的な問題が大きな理由になっています。

転出の意志

山口市へ永く住みたいかについて、「永続して住みたい」が六〇割、「当分は住みたい」一九・八割で、「できれば転出したい」「ぜひ転出したい」を合わせても七・一割でした。

前回の調査では、転出したいが三・三割あり、それに比べて転出希望者は減少しています。

地区別には、永住の意志の多い方では名田島七九・五割、少ない方では鏡鏡司の四八・八割、逆に転出希望者の多い方では陶十八・八割、小幡十四・七割が目立つ程度で、大した差はありませんでした。

男女別では、永住の意志のある人は、男性五十八・四割に比べて女性六十・七割と若干高く、反対に転出希望者は男性の方が若干高いようでした。

年代別では、転出希望者は若年層ほど多くみられ、山口市に青年の心をひきとめるもの、特に働く職場が必要のようです。居住年代別にみた場合でも、居住年代が長い人ほど定着意識が強く、短い人ほど転出希望が強いという結果を示しており、今後山口市の発展のためには、転入した人が永住するような魅力のある都市にする必要があります。

愛着感

親代々から住んでおればもち

ろんのこと、転入して十年も経過すれば、自分の住むところに何らかの愛着を感じるの自然でしょう。

この愛着感について、前回の調査と比較すると、「もっている」が五十二・九割から五十割と若干減少していますが、「強くもっている」が十一・六割から大幅に増加して二十四・四割となっています。

また、「もっていない」「全くもっていない」をあわせると十・一割から四・九割に半減しました。

余暇は趣味に生かす

生活時間

日常の生活時間で、「たいへんいそがしい」が十六・二割、「いそがしい」が三十六・八割で合わせると五十三割の人がいそがしいと感じておられるようです。

反対に生活時間に余裕をもっておられる人は、「多少余裕がある」が三十九・二割、「ひまである」が六・三割になっています。

男女別では、若干ではありませんが男性にいそがしいという意

で、山口のよさが見直され愛着感が強まったことを示しているようです。

地区別には、愛着意識が高い方では佐山八五・七割、仁保八二・五割で、低い方では鏡鏡司六十一・一割、陶六十四・七割、小幡六十八・一割となっています。

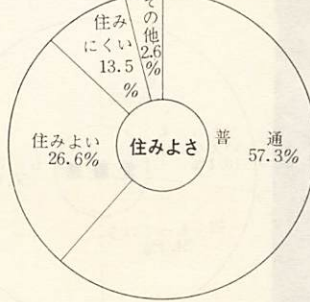
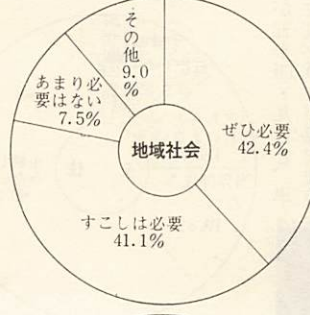
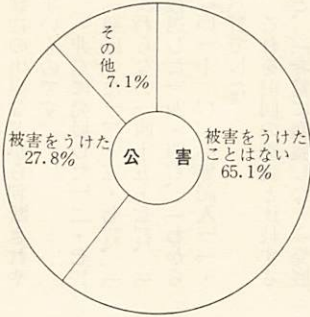
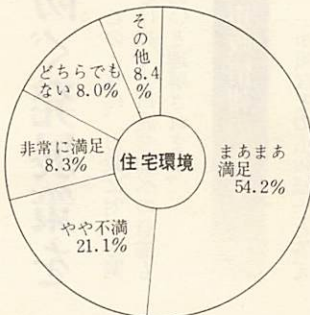
男女別では若干男性に、年代別には高年代に、居住年代別には長く住んでいる人に、はっきりと愛着感がより強く認められました。

識がうかがえますが、ほとんど大差はありませんでした。

年代別では、四十代がいそがしいとするものがいちばん多く四十代をさかんに若年、老年にいくにしたがって、その割合は低下しています。これ男女に共通していえることで、四十代が働きざかりであり、社会全体の中心的役割を果しているあらわれでしょう。

現在の自由時間の使い方

自由時間を何に使っているかで、いちばん多いのは、「テレ



人口の流出を防ぐ発展策を

市政に対する関心

市政に対する関心の度合は、「非常に関心がある」五十二・二

「関心がある」五十二・二、
「どちらともいえない」二
「関心がない」六
「全く関心がない」一
・二割となっています。

前回の調査では、「非常に関心がある」十二・五割、「関心がある」五十一・一割であったのと比較すると、若干ではありますが高くなっています。

関心の度合を「非常に関心がある」「関心がある」で見ますと、名田島が特に関心が高く七十六・五割で、他地区と比較して圧倒的に高く、逆に鑄銭司が四十四割と低く、これは女性の関心の薄さが影響しています。

前回関心が薄いとされていた小鯖、佐山、大歳は、今回はいずれも七十割以上の高い関心を示しています。

男女別では、女性五八・二割に対して男性は七十四割と高い関心を示しています。

年代別では、四十代がいちばん多く七十四・八割で、四十代をさかんに若年、老年にいくにしたがって関心の度合は低下しています。居住年代別には、長く住んでいる人が関心の度合が高く、職業別には第三次産業就業者に関心が高く、学生の半数以上が無関心としています。

このように、市政に対する関心は高く、市政参加への意識も高いと理解されます。

市政情報の入手

「市報などの広報紙」と答えている人が七十六・五割あり、市報は市民に市政情報を伝える最も重要なものであるといえます。

つぎに多いのが「新聞・テレビ・ラジオなど」の十七・五割で、この二つで九十四割を占めています。また、南部地域では「有線放送」と答えており、特に名田島は十一・九割の人が、「有線放送」と答えておられます。

市報をよく読んでいる年代は五十代がいちばん多く八十二・二割、若年にくくしたがって少なくなっています。二十代では「新聞・テレビ・ラジオ」と答えている人が三十三・五割あり、他の年代よりはるかに高い数値を示しています。

職業別では、第一次産業就業者に市報はよく読まれております。

発展の認識

この設問では、単に山口市の発展にかぎらず、県内の他都市の発展と比較して、発展のテンポについて意識の面をたずねたのですが、都市の発展というこ

とは、例えば広い道路、大きな建物の出現などから判断されやすいものです。

「非常に発展した」二・七割、「発展した」三十三・七割、「変わらない」四十五・七割、「後退した」四・四割、「わからない」十二・二割、「無記入」一・六割でした。

これを前回の調査と比較すると、「非常に発展した」「発展した」および「後退した」とするものが減少し、「変わらない」と答えられたものが四十・七割から四十五・七割と増加しています。

発展の認識を「非常に発展した」「発展した」の二つでは、高い方では佐山四十二・九割、宮野四十一・八割、大歳四十一・三割で、低い方では吉敷二十三・六割、陶二十八・一割となつています。

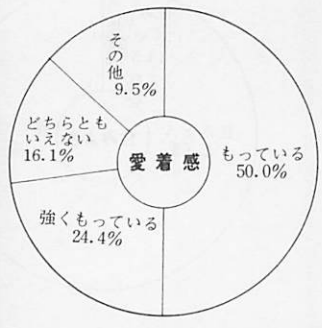
男女別には女性の方が、年代別には六十代以上に、居住年代別には長く住んでいる人に、職業別には第一次産業就業者に発展の認識が高いという結果になっています。

男女別には女性の方が、年代別には六十代以上に、居住年代別には長く住んでいる人に、職業別には第一次産業就業者に発展の認識が高いという結果になっています。

人口の増加が即都市の発展に結びつかないまでも、都市が発展するためには、人口の増加は必須の条件でもあります。

「大幅に増加した方がよい」とするもの七・五割、「増加した方がよい」二十四・六割で、全体で三十一・一割のものが増加を希望しておられます。

しかし、「現状程度がよい」



が五十四・九割と、半数以上の方が現状維持を希望しておられて、これは山口市の地域の実態の認識や市民性のあらわれでもあるでしょう。

地区別では、仁保、鑄銭司、名田島、嘉川、佐山などの周辺部で増加を希望するものが多く、大歳、平川、宮野などの市街地周辺に現状維持を希望されるものが多くあります。

男女別には男性に増加希望が多く、年代別には六十代以上に増加希望が多く、若年にくくしたがって少なくなつております。

また職業別には、第一次産業就業者に増加希望者が多くて、第三次産業就業者はむしろ現状維持を望むものが多くみうけられます。

中市、米屋町、道場門前の商店街は、土曜、日曜日には買物客でにぎわう。



く、若年層にいくに従って低下しています。

「趣味」と答えている人が圧倒的に多く三十三・五割、ついで「収入をふやす仕事」十六・三割、「休養」十五・二割、「知識技術の習得」十四割、「スポーツ・レクリエーション」十・七割、「地域社会のためになること」八・二割でした。

男女別には、「収入をふやす仕事」が男性十二・五割に対して、女性十九・九割と高い数値を示しています。また、「スポーツ」では反対に女性六・四割に対して男性十五・七割になっています。

年代別では、「知識技術の習得」「スポーツ、レクリエーション」は、二十代がいちばん高く、老年層にいくに従って低下しており、「地域や社会のためになること」「休養」では、反対に六十代以上がいちばん高

「趣味」と答えている人が圧倒的に多く三十三・五割、ついで「収入をふやす仕事」十六・三割、「休養」十五・二割、「知識技術の習得」十四割、「スポーツ・レクリエーション」十・七割、「地域社会のためになること」八・二割でした。

男女別には、「収入をふやす仕事」が男性十二・五割に対して、女性十九・九割と高い数値を示しています。また、「スポーツ」では反対に女性六・四割に対して男性十五・七割になっています。

年代別では、「知識技術の習得」「スポーツ、レクリエーション」は、二十代がいちばん高く、老年層にいくに従って低下しており、「地域や社会のためになること」「休養」では、反対に六十代以上がいちばん高

「収入をふやす仕事」が男性十二・五割に対して、女性十九・九割と高い数値を示しています。また、「スポーツ」では反対に女性六・四割に対して男性十五・七割になっています。

年代別では、「知識技術の習得」「スポーツ、レクリエーション」は、二十代がいちばん高く、老年層にいくに従って低下しており、「地域や社会のためになること」「休養」では、反対に六十代以上がいちばん高

若年人口の流出

若年人口の流出は、それが単に人口の減少だけにとどまらず生産年齢人口の減少で、老齢化社会となって、非生産の社会になり、都市の発展もおぼつかなくなってしまう。

流出は「いいことである」と答えた人はわずか二・六割にすぎませんが、三十九・一割の人が「仕方ないことである」とあきらめておられるようです。

教育文化都市をめざして

山紫水明の保存

山口市は大内文化を中心とした歴史の町、山紫水明な自然にまかされた町として、全国でもまれな静かさで、美しいたたずまいをみせています。

しかし、近代化や開発の波と調和した発展は容易ではなく、この町のふんい気や景観にどの程度の価値観を認めているかをたずねたものです。「ぜひ積極的に保存すべきで

また、「何とかする必要がある」が五十・七割で、約半数の人が市の発展のために対策を望んでおられます。

地区別では、名田島、仁保、嘉川などの周辺の農村部に「何とかする必要がある」とする人が多くあります。

「何とかする必要がある」という意識は、女性より男性に高く、年代別には三十代、四十代が高く、職業別には第一次産業就業者で高くなっています。

ある」が四十八割、「保存がすべてではないので若干の後退はやむをえない」「近代化・開発がすすむにつれて失われるのはやむをえない」という条件付保存が四十二・七割となっています。

積極的保存の意見は、南部より北部に多く、大歳五十七・五割、吉敷五十六・九割が特に目立っています。

男女別では、積極的保存が若年女性に多いだけで男女の大差はなく、年代別には、六十代以

上に他の年齢層に比較して、積極的保存よりも条件付保存の意識が多くありました。居住年代別には、古くから山口市に住んでいる人よりも、新しく山口市民になられたの方が積極的保存の意識が高く、これは他都市にはみられない景観を、ぜひとも保存すべきであるという強い願望のあらわれでしょう。

将来の都市形態

現在の山口市の都市形態から考えて、将来どのような都市形態にすべきかについて、全体としては教育文化都市が五十割と圧倒的多数を占め、ついで中核都市十三・四割、観光都市十一・六割でした。

教育文化都市は教育施設の整っている山口およびその周辺で高く、南部地区では相対的に低くなっています。

男女別では、男性四十四割に対して女性五十五・七割で、年代別には四十代が最も多く、若年、老年層にいくにしたがって減少する傾向がみられます。四十代でも特に女性が高く、これが四十代全体の数値をひき

あげる結果になっています。また、職業別には、学生、無職、その他で多くみうけられました。

中核都市については、地区別で陶、鋳銭司、嘉川で約十六割、二十二割、年代別では三十代に、職業別では第三次産業就業者に多くありました。

観光都市は、佐山、仁保、平川に他地区より若干ウエイトが認められ、男性に高く、二十代、第二次産業就業者が若干高くなっています。

この結果から将来の都市形態は、教育文化施設、県都としての機能を充実した都市形態を市民は求めているといえるでしょう。

市政の重点施策

市の施策に何を望んでいるかで、いちばん多いのは「ごみ・し尿・上下水道・公園などの生活環境施策」で三十九・六割と約四割の人が生活と密接な関係をもつ施策を希望しています。ついで、「学校・文化施設などの教育文化施策」十七・七割、「農業・商業・工業などの産業

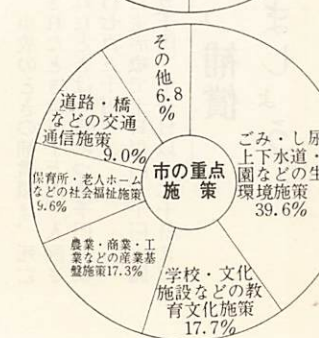
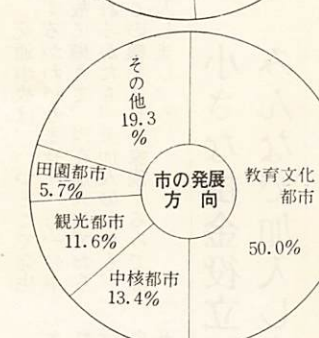
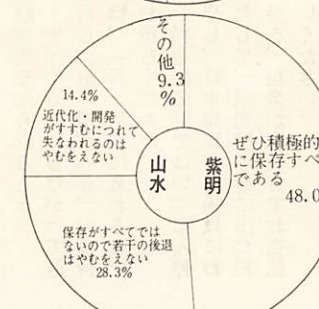
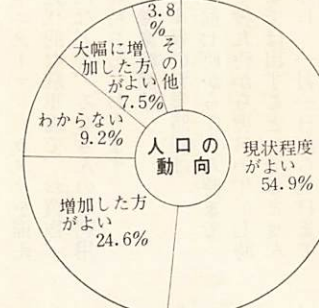
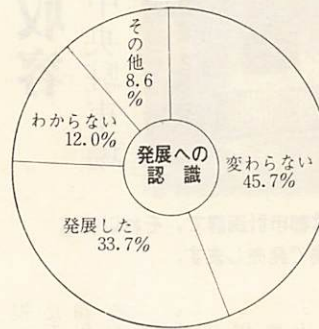
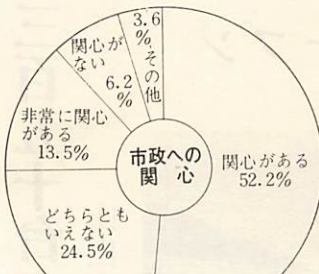
基盤施策」十七・三割

「保育所・老人ホームなど社会福祉施策」九・六割、「道路・橋などの交通通信施策」九割でした。

生活環境施策は山口を中心に市街地周辺で多く、南部地域は相対的に少なくなっています。

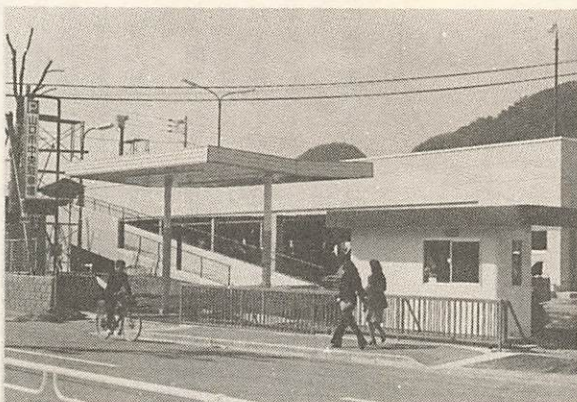
男女別には、男性より女性の方が若年が多く、年代別では二十代が多くなっています。職業別では学生、第三次産業就業者が多く、第一次産業就業者ではかなり少ない結果となっています。

教育文化施策は北部地区、女性に多くみうけられ、産業基盤施策は仁保、小鯖、南部地域の農村部に多く、おそらくこれは農業の基盤施策を望んでおられるものと思われる。



三百五十台を収容

山口市中央駐車場



3月26日オープン

回数券の発売は3月15日から25日までは都市計画課で、それ以後は駐車場で、定期券は3月26日から駐車場で発売します。

市役所西側に建設中であります山口市中央駐車場の建設工事は、昭和四十九年度から二年の継続事業で、総工費六億二千八百万円をかけて、収容台数

三百五十台の駐車場が、関係者の協力で工事も順調に進み、三月二十六日にオープンすることになりました。この駐車場は、放送設備、監

視モニターテレビカメラを備えた近代的な駐車場で、お買物、商用などで、みなさんご利用をお待ちしております。

△営業時間▽

。駐車場の営業時間は
午前七時から午後九時まで
午後九時から翌日の午前七時までは出すことはできません
休日 一月一日から三日まで
ただし、市民会館の行事などで、営業時間を変更することがあります。

△利用上のご案内▽
。駐車場へはいられるとき
。市民会館側、市道芳沢町下湯田線に設けてあります。
。駐車整理券の発売機前で、いったん停車して、「駐車整理券をお取りください」の放送がありますので、発売機からのぞいている駐車整理券をぬき取ってください。
。場内標識にしたがって、車路は一方通行になっており、あいているところに駐車してください。

<駐車料金>

駐車券種別	駐車時間	駐車料金
一般料金	午前7時～午後9時	1時間まで 100円 30分増ごとに 50円
	午後9時～翌日の午前7時	1時間増ごとに 50円
定期券	全日	1か月 6,000円
	日間	午前7時～午後7時 4,000円 午後6時～翌日の午前8時 3,000円
回数券	50円券	11枚つづり 500円
	100円券	〃 1,000円

(注) 3か月、6か月定期券を発売しますが、割引制度はありません。

◎ 駐車場を出られるとき
。矢印の方向にしたがって進行し、信号機が「赤」の場合は、「青」信号に変わるまでお待ちください。
。料金所の前ではいったん停車し、駐車整理券を係員にわたして、電光標示板に出た料金を、現金か回数券でお支払ってください。

交通事故は、いつどこで発生するかわかりません。万一の事故に備えて、現在加入しおられるかとも、未加入のかとも、この機会にぜひ家族ぐるみで加入しましょう。

小さな掛金役立つ補償 みんなで加入しましょう

市民交通災害共済

△ 給付内容はよくなりました▽
共済期間は、四月一日から五月三十一日までです。
掛金はひとりにつき年額四百八十円で、途中加入の場合は月割りです。

市内定期観光バス

三月十日から運行

山口市営バスは、ことしも三月十日から十一月三十日まで、市内定期観光バスを毎日運行します。新幹線の開通で、訪れる観光客が多くなりましたので、午後の便を増発することにしました。どうかご利用ください。

△時間▽

。湯田温泉発 九時、十四時
。山口駅発 九時十分、十四時十分

△下車観光地▽

。サビエル記念聖堂、香山園、五重塔、雪舟庭

△運賃▽

湯田温泉からおとな七百円、学生六百七十円、こども二百十円。山口駅からおとな六百十円、学生五百八十円、こども百七十円。

無料法律相談

市民相談室では、次のとおり無料法律相談を行います。土地、建物、貸借問題などでお困りのかたは、お気軽にご利用ください。

・とき 三月八日(月) 十時から十五時まで(受付時間九時三十分から)

・ところ 中央公民館(市民会館内)



メロンの植え付けがはじまる。

3月のこよみ

■ 春季緑化運動 3月1日から4月10日まで国土緑化運動、都市美化運動の行事もはじまります。緑と健康と史跡の町づくりをモットーとする山口市です。いまある緑をたいせつにし、新しい緑を育てる植樹をしましょう。

■ ひなまつり 3日、女の子の身心ともにすやかな成長を祝うむかしながらの節句。

■ 耳の日 3日、耳の病気は案外治療がおくれることがある。特に子どもの耳は親がいつも気をつけておきましょう。

■ 卒業 高等学校は1日、中学校は15日～16日、小学校は19日、よくがんばったね。おめでと。

■ 春の彼岸 彼岸の入りは17日、20日が中日で春分の日。家族そろってお墓まいりをしましょう。

■ 防犯・安全 春休みは卒業や学年の修了で、子どもたちも解放感と同時に気持の動揺のあるとき、交通事故や不良行為に親は十分な配慮を。

<俳句>

山口同人句会 河添 英男
日脚伸ぶ小鳥の歌を籠に吊り
平川野菊句会 石川やす子
春休み子は一打ちに薪を割る
まっ白き障子のうちや初雛 松永 涼子
名田島句会 佐伯 白雪
色刷りのカルタの如き春日かな
大内青苔句会 外屋ひろし
水温む餌付けの鯉も音たてて



▲ 建国記念の日を祝う

2月11日「建国記念の日」その日を祝う大会が県建国記念の日奉祝会の主催で行われました。山口大神宮で神事のあと宗教団体、町内会、婦人会員ら1,300人が日の丸の小旗を手に市中行進をし、そのあと市民会館で祝賀会が開かれました。



▲ なつかしい針供養

大内婦人会では2月7日、女性だけの伝統行事「針供養」を行いました。

会場の公民館に祭壇を設けて神官を招いておはらいのあと、約50人の会員が持ちよった古い針や折れた針を豆腐に刺して「長い間、ごくろうさん」



▲ うーんいい気持ちじゃ...

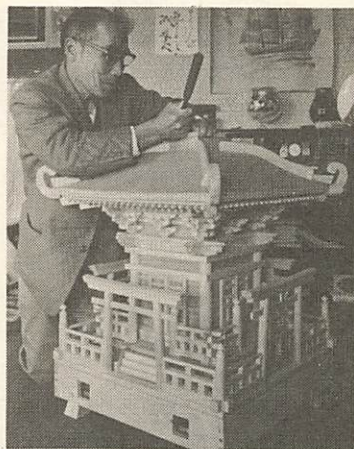
とかく孤独になりやすいお年寄りに肩の一つづもんであげれば— 家の中はぐっと明るくなるもの、小鯖婦人会で家庭の主婦が進んでこの役を引き受けようと、2月20日、「指圧講習会」を開きました。市保健婦さんの指導でお年寄りの首筋や肩などのツボをぐっと押すと、「うーんいい気持ちじゃ」と目を細めて大喜びでした。



▲ 児童文庫に図書寄贈の第一号

宮野公民館では、子どもたちから図書室の児童図書、児童図書館の巡回図書がたいへん喜んで読まれていますので、このたび児童文庫を創設しました。

その文庫の創設に賛同された各種団体の中で、宮野明朗会（老人クラブ）の代表のかたが、2月6日に公民館に100冊の図書を寄贈されました。



▲ 子どもたちにおみこし

勉強に明けくれる子どもたちにおみこしをかついで思いきり騒がしてやろうと、赤妻町・吉光安治さんはいまおみこし作りの毎日です。大工さんだった吉光さんもおみこしは始めてで、市内の神社やおみこしの写真をもとに昨年の秋からコツコツと作り始め大きさは台が54センチ、高さ75センチと周囲にはぎぼしのらんかんもつけられて見事なできばえ、この夏にはこのみこしをかついだ子どもたちの威勢のよいワッショイが見られる。

同和問題を考える

問 最近、婦人のパート、共働きが普通になりましたが、それでも昼間人口の大部分を占めているのが婦人であり、また、周辺部では労働力の中心になっているのが婦人です。

このように、婦人はそれだけの居住地域で生活の中心的存在であると言うことができます。このことから、これら婦人にはその地域に根づいたかわり合いやいたわり合いを深めるための、こまやかで地道な自己研修も含めた奉仕活動、生活環境改善運動が特に望まれているわけですが、そうした婦人会でこの問題についての取り組みはどうなっているのですか。

答 「現在、わたくしたちくらしの中に、封建的な老えかたや習慣が依然として残っており、その中心に同和問題があります。こうした問題を正しく理解し、明るく住みよい地域社会を築くために、公民館を足場とした同和教育を進める。」

これは陶地区婦人同和教育学級開設のねらいですがこの学級生は、各部落の支部長または副支部長を含めた五人からなり、年七回の継続学習をすることになっ

婦人会の取り組み

山口市の同和教育—社会教育では(2)

こうした動きを

頂点として、中央三地区、各公民館単位十三地区の婦人会は、学習差のある会員を抱えながら、くらしの中の偏見やそれから生まれてくる部落差別の基になるものを探し、取除くために、居住地域の連帯感づくりに地道な努力を続けています。

ています。

また、湯田婦人会では、同和地区とその隣接地区相互の交流と理解をはかり、問題解消の手がかりをつかむために、隣接町内婦人幹部研修会を持っています。それに、話を聞くばかりではお互いの考えがわからず、しかも自分自身の中でも考えをめぐらすことができないことから、連合婦人会役員会や白石、大歳、名田島婦人会では、問題についての対話集を開き、解消のための壁が何であるかを浮きぼりにして、そのひとつひとつについて検討しており、佐山婦人会では年四、五回の継続学習会を開き、参加者全員の感想をまとめた文集を作りそれぞれの考えかたをより確かなものにしようとして

はかりの定期検査

はかりを商売や事業などで証明用として使用されるかたは、毎年一回定期検査を受けなければなりません。該当者はもれなくもよりの検査場所で検査を受けてください。

印かんと手数料がかかります。

日程表

Table with columns: 期日, 曜, 検査時間, 検査場所. Lists inspection dates and locations from March 15 to 29.

・「光電式はかり」の検査は3月25日(木)市役所正面玄関で行います。

・当日もよりの検査場所できな場合は、他の場所でも受け付けます。

お知らせ

春の緑化運動が、三月一日から四月十日まで行われます。山は「一本切ったら二本植えよう」...

緑のふるさと



市内では十四戸の農家で、杉、松などの山行用苗木を生産。年間約百万本を出荷しています。(天花で)

生活科学講座

- とき 3月10日(水)13時30分~16時
ところ 県消費生活センター研修室
内容 新しい繊維や加工の知識

地質巡検の参加者募集

- 一玖珂郡の地質と鉱床をたずねて一
とき 3月20日~21日(1泊2日)
(雨天決行)
ところ 玖珂郡美川町一带
参加資格 15歳以上の人
参加費 宿泊参加者4千円。
申し込み 住所、氏名、勤務先を明記し参加費をそえて、県立博物館内地質巡検係へ。

新入生の下宿・貸間を探しています

山口大学学生の下宿、貸間を探しています。部屋を貸されるかたは、電話か文書で、山口市吉田山口大学学生部厚生課(電話山口②-6111)へ。

老人いこいの家(寿泉荘)に寄付

▷西京ライオンズクラブ毛布(8枚), 図書 ▷道場門前 石川静子 毛布(4枚)

老人ホーム改築寄付金

▷湯田温泉2丁目 山下ハツ2万円
▷市職不用品即売実行委員会 7千7百円

児童福祉金寄付金

▷交通遺児援護寄付金 山口市野球連盟 100万円。▷交通遺児救済新春慈善バザー-実行委員会 10万円。

一分譲住宅募集

(住宅金融公庫融資付)

- 団地名 七房団地(宮野七房)
募集戸数 木造平家建(72.87㎡)3戸(79.49㎡)3戸
分譲予定価額 958万円~1,004万円
住宅金融公庫融資額 360万円
お問い合わせ申し込みは、県労働金庫(電話山口②-1300)へ。

所得税・贈与税申告の相談

山口税務署では、確定申告と贈与税申告の計算の仕方、申告書の書き方のわからないかたに、納税相談を行っておりますので、お気軽にご相談ください。
とき 3月6日~15日 9時30分~15時
ところ 黄金町 山口税務署

陸海空自衛官募集

- 資格 18歳以上25歳未満の日本男子
待遇 7万3千7百円、ボーナス3回分で5.2か月分、その他諸手当があります。
受付 いつでも受け付けております。
くわしいことは市民課、各出張所、自衛隊山口地方連絡部へ。

人形クラブ会員募集

山口市老人福祉館では、老人趣味クラブの人形クラブ(東山人形)の会員を募集しています。
受付期間 三月一日~三十一日(九時~十七時)
開講日 四月五日(十時)
場所 市福祉センター、老人福祉館
講習日 毎週月曜日
時間 十時~十二時
材料費 実費徴収

差押財産の公表

お問合わせ、申し込みは市福祉センター(電話山口②-7121)へ。
差押財産の公表を次のとおり行います。
とき 三月十一日(木)午前十時から十一時まで
ところ 市役所納税課
公表財産 電話加入権三件

東京ヴィヴァルディ合奏団とともに

東京ヴィヴァルディ合奏団を招いて、第三回市民コンサートが開かれます。
ことしは新しい試みで、鳥谷明美さん(山大付属山口中学校一年)、岩成宏子さん(山口高校二年)が、この合奏団とパッサ、ハイドンのピアノ協奏曲を共演します。
とき 三月二十一日(日)
第三回市民コンサート
開場十三時、開演十三時三十分
ところ 市民会館大ホール
曲目 花、さくらさくら、春がきた(パロック調に編曲)チゴイネルワイゼン
入場料 家族券(二人)千二百円。個人券七百円
お問い合わせは、中央二丁目五十一、山口市民会館

Table with columns: 3月の休日当番医, 日, 科, 病院名, 電話, 内, 科, 病院名, 電話. Lists on-call doctors for March holidays.

診療時間は 8時30分~17時30分 歯科は県口腔センター 吉敷下東(電話山口3-1820)へ。 9時~15時